

2018年9月27日

## 味の素グループ、国内調味料・加工食品の製造・包装を担う新会社 「味の素食品株式会社」を2019年4月に発足 ～国内食品生産体制再編の一環として～

味の素株式会社（社長：西井孝明 本社：東京都中央区）は、2017年9月29日付のプレスリリース「味の素グループ、国内調味料・加工食品生産体制を再編」で発表した内容に沿い、国内の調味料・加工食品の製造・包装を担う新会社を2019年4月に発足します。

味の素株式会社の川崎事業所および東海事業所の調味料・加工食品の製造・包装事業、味の素パッケージング株式会社の製造・包装事業、ならびにクノール食品株式会社を統合します。新会社の会社名は「味の素食品株式会社」とします。

当社は2017-2019中期経営計画において、重点戦略として日本食品バリューチェーンの再編を掲げ、この方針の下、新会社の発足および総額約400億円の設備投資を行い、国内食品生産体制の集約・再編を進めています。2017年10月20日付のプレスリリース「味の素グループ、調味料等の製造・包装工場を新設」で発表した内容に沿い、2019年度下期の完工を目指し、味の素パッケージング株式会社関西工場の製造・包装機能を当社東海事業所に移管・集約し、約150億円をかけて、調味料等の製造・包装一貫生産を行う新工場の建設に既に着手しています。今後更に再編を進め、調味料・加工食品の国内生産拠点を2021年度中に3拠点（川崎・静岡・三重）に集約すると共に、ICT・自動化等の先端技術を活用して飛躍的に効率を高め、お客様の需要に柔軟かつスピーディーに応える世界トップレベルの生産の実現を目指します。これらの集約・再編および平行して進める増産により、当初計画通り、2022年度以降、年間約70億円EBITDAを改善し、対象事業の事業利益率を約2%向上させ事業構造の強化を図ります。

当社グループは、“Eat Well, Live Well.”の実現に向け、今後もお客様に安心して召し上がっていただける製品を安定的にお届けできるよう、バリューチェーンの強化を図り、生活者の「食」と「健康」に貢献し続けます。

なお、本件が当社の2018年度業績に与える影響は軽微です。

### <新会社の概要>

- (1) 会社名：味の素食品株式会社
- (2) 所在地：神奈川県川崎市川崎区鈴木町1-1
- (3) 発足時期：2019年4月
- (4) 代表者：代表取締役社長 辻田 浩志（2019年4月就任予定）  
（現職：味の素株 執行役員 川崎事業所長）
- (5) 従業員数：約2,100名（予定）
- (6) 事業内容：調味料・加工食品等の製造・包装
- (7) その他：クノール食品株式会社の子会社についても、同様に会社名を変更します。  
現：北海道クノール食品株式会社 ⇒ 新：味の素食品北海道株式会社  
現：クノールトレーディング株式会社 ⇒ 新：味の素AFMトレーディング株式会社

### 参 考

2017年9月29日付プレスリリース

「味の素グループ、国内調味料・加工食品生産体制を再編」

[https://www.ajinomoto.com/jp/presscenter/press/detail/2017\\_09\\_29.html](https://www.ajinomoto.com/jp/presscenter/press/detail/2017_09_29.html)

2017年10月20日付プレスリリース

「味の素グループ、調味料等の製造・包装工場を新設」

[https://www.ajinomoto.com/jp/presscenter/press/detail/2017\\_10\\_20.html](https://www.ajinomoto.com/jp/presscenter/press/detail/2017_10_20.html)

